No.46 Shock absorber oil

安全データシート

JIS Z 7253 : 2012 に準ずる
発行日: 2019/06/10　改訂日: 2019/06/10　バージョン: 1.0

1. 化学品及び会社情報

製品特定名

化学品の名称　:　No.46 Shock absorber oil
製品コード　:　N-301

推奨用途及び使用制限

推奨用途　:　アブソーバー用オイル

会社情報

製造業者

スズキ株式会社
〒432-8611　静岡県浜松市南区高塚町 300
053-440-2061

緊急連絡電話番号　:　053-440-2061

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

健康有害性	急性毒性（吸入：粉じん、ミスト）	区分 4
	眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	区分 2B
	生殖細胞変異原性	区分 2
	発がん性	区分 1A
	特定標的臓器毒性（単回ばく露）	区分 2（肺）
	特定標的臓器毒性（反復ばく露）	区分 1（肺，皮膚）
	吸引性呼吸器有害性	区分 1
環境有害性	水生環境有害性(急性)	区分 1

絵表示（GHS JP）

GHS07

GHS08

GHS09

注意喚起語（GHS JP）　:　危険
含有　:　鉱油
危険有害性情報(GHS JP)　:　吸入すると有害（H332）
眼刺激（H320）
遺伝性疾患のおそれの疑い（H341）
発がんのおそれ（H350）
臓器の障害のおそれ（肺）（H371）
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害（肺、皮膚）（H372）
飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ（H304）
水生生物に非常に強い毒性（H400）

注意書き(GHS JP)

安全対策　:　使用前に取扱説明書を入手すること。(P201)
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。(P202)
粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。(P260)
取扱い後はよく手、前腕および顔 を洗うこと。(P264)
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。(P270)

屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。(P271)
環境への放出を避けること。(P273)
保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。 (P280)

応急措置 : ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。(P308+P311)
飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。(P301+P310)
無理に吐かせないこと。(P331)
吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。(P304+P340)
気分が悪いときは医師に連絡すること。(P312)
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338)
眼の刺激が続く場合：医師の診断／手当てを受けること。(P337+P313)
漏出物を回収すること。 (P391)

保管 : 施錠して保管すること。 (P405)

廃棄 : 内容物／容器を国際、国、都道府県又は市町村の規則に従って廃棄すること。 (P501)

3. 組成及び成分情報

製品情報 : 混合物

名前	濃度 (%)	化学式	官報公示整理番号		CAS 番号
			化審法番号	安衛法番号	
鉱油	95.00	不特定			8002-05-9
ビス(ジチオリン酸=0,0-ジブチル)亜鉛	2.50	C16H3604P2S4Zn	(2)-2945;(2)-2184	(2)-2945;(2)-2184	6990-43-8
2-プロペン酸、2-メチル-、ウンデシルエステル	2.50	C15H2802	(2)-1039	(2)-1039	16493-35-9

4. 応急措置

応急措置

吸入した場合 : 吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪いときは医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合 : 皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。

眼に入った場合 : 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合：医師の診断／手当てを受けること。

飲み込んだ場合 : 飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。
無理に吐かせないこと。
被災者に意識がない場合は、口から何も与えてはならない。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候及び症状

症状/損傷 吸入した場合 : 吸入すると有害。
気道に炎症を引き起こすことがある。

症状/損傷 皮膚に付着した場合 : 軽度の皮膚刺激。
症状には、皮膚の発赤、乾燥、脱脂およびひび割れがあります。

症状/損傷 眼に入った場合 : 眼刺激。

症状には、不快感や痛み、過剰なまばたきおよび流涙があり、充血や腫

れなど伴うことがあります。

症状/損傷 飲み込んだ場合 : 飲み込むと有害のおそれ。
胃腸の炎症、吐き気、嘔吐、下痢を引き起こすことがある。
飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。
誤嚥により化学性肺炎を起こすことがある。

慢性症状 : 遺伝性疾患のおそれの疑い。
がんを引き起こすことがある。
臓器の障害のおそれ（肺）。
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害（肺、皮膚）。

その他の医学的アドバイスまたは治療

その他の医学的アドバイスまたは治療 : 症状は遅発性のことがある。
対症的に治療すること。
事故の発生や気分が悪い場合は、直ちに医師の診察を受けてください（できる限りラベルまたはSDSを提示してください）。

5. 火災時の措置

適した消火剤 : 周辺火災を消火する際は適切な消火薬剤を使用する。

使ってはならない消火剤 : 知見なし

火災危険性 : 燃焼生成物には、炭素酸化物が含まれることがありますが、それに限定されません。
硫黄酸化物。
ホスフィンオキシド。

火災時の反応性 : 通常の使用条件下において、危険な反応は全く知られていない。

火災時の危険有害性分解生成物 : 有毒な煙を放出する可能性がある。

消火方法 : 危険を伴わずに出来る場合には、容器を火災現場から移動させる。
水噴霧で熱にさらされた地面を冷却する。

消火時の保護具 : 風上に保管して下さい。適切な保護具（耐熱手袋、保護眼鏡、保護マスク、空気式呼吸器、耐熱保護衣等）を着用してください。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

一般的措置 : セクション8で推奨されている個人用保護具を使用してください。危険区域を隔離し、関係者以外および保護具を装備していない人が立ち入ることを禁じてください。
発火源を除去する。
十分な換気を確保する。

非緊急対応者

応急処置 : 出動は、適切な保護装備を身につけた有資格者に限られる。
粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。

緊急対応者

保護具 : 適切な保護具を着用して作業する。
詳細については、第8項の「ばく露制御/個人保護」を参照。

環境に対する注意事項

環境に対する注意事項 : 環境への放出を避けること。
本製品が下水、または公共用水に流入した場合も、行政当局に通報する。

封じ込め及び浄化方法及び機材

封じ込め方法	:	漏出物を回収すること。 不活性物質（例、砂、バーミキュライト）で収容およびまたは流出を吸収し、適切な容器に入れてください。下水または排水溝に流さないようにしてください。適切な個人用保護具（PPE）を使用すること。
浄化方法	:	漏出物は掃くまたはシャベルですくって適切な容器に封じ込め廃棄に備える。 換気を行ってください。
その他の情報	:	物質または固形残留物は公認施設で廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱注意事項	:	使用前に取扱説明書を入手すること。 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 皮膚、眼との接触を避ける。 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。 飲み込まないでください。 容器の開封および取り扱いは注意して行う。 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。 個人用保護具を着用する。 熱／火花／裸火／高温のもののような着火源から遠ざけること。－禁煙。
衛生対策	:	汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。 取扱い後はよく手、前腕および顔を洗うこと。

保管

安全な保管条件	:	子供の手の届かない場所に保管すること。 容器を密閉しておくこと。 施錠して保管すること。 密封容器に入れ、換気の良い乾燥した冷暗所に保管する。 食品、飲料、動物用のｴｻからは離して保管すること。 発火源から離す。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策	：作業所の十分な換気を確保する。洗眼器と安全シャワーを作業場の近くに設置すること。
手の保護具	：適切な手袋を着用のこと。
眼の保護具	：サイドシールド付き安全メガネ。
皮膚及び身体の保護具	：適切な保護衣を着用する。
呼吸用保護具	：換気が不十分である場合、適切な呼吸器を着用する。呼吸用装置の選択は、既知または予測される暴露レベル、製品の危険性および選択した呼吸用装置の安全使用限界に基づくこと。
環境へのばく露の制限と監視	：環境への放出を避けること。
その他の情報	：産業衛生および安全手順に従って処理する。この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態	:	液体
外観	:	液体

色	:	データなし
臭い	:	データなし
pH	:	データなし
蒸発速度（酢酸ブチル＝１）	:	データなし
融点	:	データなし
凝固点	:	データなし
沸点	:	データなし
引火点	:	データなし
自然発火温度	:	データなし
分解温度	:	データなし
燃焼性(固体、気体)	:	不燃性
爆発範囲（上限、下限）(g/m³)	:	データなし
蒸気圧	:	データなし
相対蒸気密度（20 ° C)	:	データなし
比重	:	データなし
溶解度	:	データなし
オクタノール/水分配係数	:	データなし
爆発特性	:	データなし
爆発範囲（上限、下限）(g/m³)	:	データなし
動粘性率:	:	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	:	通常の使用、保管、運送の状況下では、当製品は反応しません。
化学的安定性	:	通常の条件下では安定。
危険有害反応可能性	:	通常の使用条件下において、危険な反応は全く知られていない。
避けるべき条件	:	熱、火花、炎から遠ざけること。
混触危険物質	:	強酸、強塩基
危険有害な分解生成物	:	燃焼生成物には、炭素酸化物が含まれることがありますが、それに限定されません。硫黄酸化物。ホスフィンオキシド。

11. 有害性情報

急性毒性（経口）	:	区分外
急性毒性（経皮）	:	区分外
急性毒性（吸入）	:	吸入すると有害。

ATE JP（粉じん、ミスト）	1.5 mg/l/4h

未知の急性毒性（GHS JP）	混合物の 2.5%は未知の急性毒性(経口)の成分で構成されている 混合物の 5%は未知の急性毒性(経皮)の成分で構成されている 混合物の 5%は未知の急性毒性(吸入（蒸気))の成分で構成されている

鉱油（8002-05-9）	
LD50 経口 ラット	> 5000 mg/kg
LD50 経皮 ウサギ	> 2000 mg/kg

ビス(ジチオリン酸=0,0-ジブチル)亜鉛（6990-43-8）	
LD50 経口 ラット	> 2000 mg/kg
LD50 経皮 ウサギ	> 2002 mg/kg
LD50 吸入 ラット	> 2.3 mg/l/4h

皮膚腐食性及び皮膚刺激性　:　軽度の皮膚刺激。
pH: データなし。

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	:	眼刺激。 pH: データなし。
呼吸器感作性	:	利用可能なデータに基づいて、分類基準を満たしていない。
皮膚感作性	:	利用可能なデータに基づいて、分類基準を満たしていない。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	:	利用可能なデータに基づいて、分類基準を満たしていない。
生殖細胞変異原性	:	遺伝性疾患のおそれの疑い。
発がん性	:	発がんのおそれ。
生殖毒性	:	利用可能なデータに基づいて、分類基準を満たしていない。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	:	臓器の障害のおそれ（肺)。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	:	長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害（肺，皮膚)。
吸引性呼吸器有害性	:	飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。

12. 環境影響情報

生態系 - 全般	:	水生生物に非常に強い毒性。
未知の水生環境有害性（GHS JP)	:	未知の水生環境有害性の成分を 5%含有する。
水生環境有害性(急性)	:	水生生物に非常に強い毒性。
水生環境有害性(長期間)	:	区分外

No. 46 Shock absorber oil	
オクタノール/水分配係数	データなし

鉱油 (8002-05-9)	
EC50 ミジンコ 1	< 0.26 mg/l(ばく露時間: 48 h -種: Daphnia magna [静的])

No. 46 Shock absorber oil	
残留性・分解性	追加情報なし

No. 46 Shock absorber oil	
オクタノール/水分配係数	データなし
生体蓄積性	追加情報なし

No. 46 Shock absorber oil	
土壌中の移動性	追加情報なし
オクタノール/水分配係数	データなし

オゾン層への有害性	:	追加情報なし
その他の有害な影響	:	追加情報なし

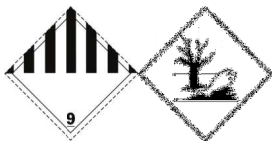
13. 廃棄上の注意

推奨製品/梱包処分	:	内容物／容器を国際、国、都道府県又は市町村の規則に従って廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国際規制

道路輸送(UN RTDG)

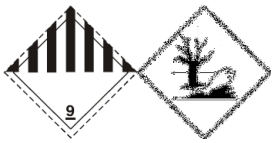
国連番号(UN RTDG)	:	3082
正式品名 (UN RTDG)	:	環境有害物質（液体)
容器等級(UN RTDG)	:	III
輸送危険物分類 (UN RTDG)	:	9
危険物ラベル (UN RTDG)	:	9
	:	
クラス (UN RTDG)	:	9
少量危険物 (UN RTDG)	:	5L
微量危険物 (UN RTDG)	:	E1

包装指令（UN RTDG）	:	P001, IBC03, LP01
特別包装規定（UN RTDG）	:	PP1
ポータブルタンク及びバルクコンテナ/要件（UN RTDG）	:	T4
ポータブルタンク及びバルクコンテナ/特別要件（UN RTDG）	:	TP1, TP29

海上輸送(IMDG)

国連番号（IMDG）	:	3082
正式品名（IMDG）	:	ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N.O.S.
容器等級(IMDG)	:	III
輸送危険物分類（IMDG）	:	9
危険物ラベル（IMDG）	:	9
	:	
クラス(IMDG)	:	9

航空輸送(IATA)

国連番号（IATA）	:	3082
正式品名（IATA）	:	Environmentally hazardous substance, liquid, n.o.s.
容器等級（IATA）	:	III
輸送危険物分類（IATA）	:	9
危険物ラベル（IATA）	:	9
	:	
クラス（IATA）	:	9

海洋汚染物質	:	該当
特別な輸送上の注意	:	全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質

IBC コード	:	非該当。

国内規制

海上規制情報	:	船舶安全法の規定に従う。
航空規制情報	:	航空法の規定に従う。
その他の情報	:	規制されていない。

15. 適用法令

消防法	:	第４類引火性液体、第三石油類非水溶性液体（法第２条第７項危険物別表第１・第４類）
労働安全衛生法	:	名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物（法第５７条の２、施行令第１８条の２第１号、第２号別表第９） 鉱油　（政令番号 : 168）
大気汚染防止法	:	有害大気汚染物質に該当する可能性がある物質（中央環境審議会第９次答申）
海洋汚染防止法	:	油（施行規則第２条） 危険物（施行令別表第１の４）
外国為替及び外国貿易法	:	輸入貿易管理令第４条第１項第２号輸入承認品目「２の２号承認」 輸出貿易管理令別表第２（輸出の承認）
道路法	:	車両の通行の制限（施行令第１９条の１３、（独）日本高速道路保有・債務返済機構公示第１２号・別表第２）
特定有害廃棄物輸出入規制法（バーゼル法）	:	廃棄物の有害成分・法第２条第１項第１号イに規定するもの（平１０三省告示１号）

水道法	:	有害物質（法第４条第２項）、水質基準（平１５省令１０１号）
下水道法	:	水質基準物質（法第１２条の２第２項、施行令第９条の４）

16. その他の情報

その他の情報	:	なし。
改訂日	:	2019/06/10

免責条項　当該シートに記載されている情報は信頼できる情報をもとにしているが、情報の正確性について明示・暗示を問わずいかなる保証をするものではない。製品の取扱い、使用、保管または廃棄条件は当社の管理外であり、我々の認知するところではないことがある為、製品の取扱い、使用、保管または廃棄によって生じる損失、損害または費用に対する責任は、直接・間接を問わず一切負わない。当該シートは本製品にのみ使用するべきである。本製品がその他の製品の成分として使用される場合は、当該シートに記載されている情報が適用されないことがある。

[会社情報]

販売者：(株)スズキ自販中部
所在地：尾張旭市南本地ケ原町3丁目75番地
TEL:0561-51-2331